

日本経済政策学会第75回(2018年度)全国大会(同志社大学)  
大会プログラム概要

大会テーマ：『安倍政権における経済政策(アベノミクス)の評価と今後の指針』

2012年12月に第二次安倍政権が誕生し、アベノミクスとよばれる経済政策が現在まで継続しています。発足当初、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」という「三本の矢」を柱として、デフレ脱却、持続的な経済成長を実現するために、その後さまざまな政策が打ち出されました。5年が経過した今、それらの検証と評価を行うことを大会テーマとし、6本の講演とパネルディスカッションで構成する共通論題セッションを第1日目5月26日(土)に、準共通論題、自由論題、企画の各セッションを第2日目5月27日(日)に開催します。

1. 共通論題セッション

共通論題1 成長戦略「日本のこれからを考える」(5月26日(土)午前)

講演1「働き方改革」(仮題)

講演者 川口章氏(同志社大学政策学部教授)

講演2「自動運転の社会へのインパクト」(仮題)

講演者 三好博昭氏(同志社大学政策学部教授, ITEC 所長)

共通論題2: 金融・財政政策の評価と今後の指針(5月26日(土)午後)

(1)「金融政策」

講演3 講演者 白井さゆり氏(慶應義塾大学総合政策学部教授)

講演4 講演者 北坂真一氏(同志社大学経済学部教授)

(2)「財政政策」

講演5 講演者 宮崎智視氏(神戸大学大学院経済研究科准教授)

講演6 講演者 中島朗洋氏(財務省主計局主計官)

(3) 共通論題2: 金融・財政政策 パネルディスカッション

コーディネーター: 飯田泰之氏(明治大学政治経済学部准教授)

パネラー: 白井氏, 北坂氏, 宮崎氏, 中島氏

## 2. 準共通論題セッション

アベノミクス第三の矢である「成長戦略」の内容は多岐にわたっており、共通論題1では十分に網羅できていません。そこで今大会では、準共通論題セッション「アベノミクスの成長戦略」を設け、研究報告を募集します。

なお、今大会から共通論題をテーマとした学会叢書を発行する予定です。学会叢書は一般向け書籍として、社会に対する学会の貢献をアピールするものです。準共通論題の研究報告のなかから若干のものについて、一般読者向けに修正していただき、叢書に掲載をお願いする予定です。奮ってご応募いただければ幸いです。

## 3. 自由論題セッション

例年通り、自由論題セッションとして、学会員の研究発表を行います。積極的なご応募をお願いいたします。

## 4. 企画セッション

自由論題セッションと並行して、企画セッションを設けます。企画セッションとは、個人またはグループが、一つのセッションを提案し、その発表者・内容を企画提案者がアレンジするものです。発表された論文は、学会誌の投稿に際して、自由論題セッションでの発表と同等に扱われます。

以上